

【中央環状線整備計画について】



首都高速中央環状線は、圏央道・外環とともに首都圏3環状道路を形成し、都心から半径約8 kmの最も内側に位置する環状道路です。

中央環状線の東側と北側の区間は既に完成し、今回はその西側区間である約11 kmの中央環状新宿線のうち、④新宿線～⑤池袋線間の6.7 kmが開通し、中央環状線47 kmの約7割が完成しました。2009年度には④新宿線～③渋谷線間の4.3 kmが開通予定で、さらに、2013年度には中央環状線の最終区間である中央環状品川線の9.4 kmが開通予定であり、中央環状線全線が開通します。

中央環状線が開通すると、都心環状線に集中していた通過交通が分散され首都高速道路全体の流れがよくなるとともに、目的にあわせたさまざまなルート選択が可能になります。